

年頭のごあいさつ

石巻市長 亀山 紘



平成30年の年頭に当たり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。皆さまにおかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、東日本大震災から間もなく7年が経過しようとしております。最大の被災地となった本市であり、最大のおかげさまで防災集団移転事業による宅地造成はほぼ完了し、復興公営住宅も平成30年度中には整備を完了する運びとなり、被災された方々の暮らしが少しずつ平穏を取り戻しつつあります。しかし、復興の進展に伴う新たな課題も多く、復興はまだ道半ばにあると考えております。

昨年を振り返りますと、3月に新門脇地区「まちびらぎ」の開催、渡波中学校新校舎完成、4月には釜・渡波・雄勝保育所が開所し、6月には雄勝小・中学校新校舎完成、かわまち交流拠点の核となる「いしのまき元氣いちば」がオープン、7月から51日間にわたり「リボンアート・フェスティバル」が開催されま

した。また、県北部の拠点港として地域経済を支える石巻港が開港50周年を迎え、国内最大のクルーズ船「飛鳥II」が寄港するなど、福祉、教育、産業、観光の明るい話題が多い年となりました。

本年は、本市の復興基本計画に定める「発展期」に入ります。3月完成予定の石巻市防災センターをはじめ石巻駅周辺に防災・保健・福祉・医療・介護等の拠点を集約整備するとともに、総合支所を中心とした地域の拠点づくりを推進し、公共交通指向型開発と次世代型地域包括ケアの展開による地域で支え合うコンパクトなまちづくりを目指してまいります。

また、本市には、震災を乗り越え、石巻圏内外に大きな雇用を生み出している優れた企業が多く立地しておりますので、そうした企業の先進的取り組みや販路拡大に向けた支援を継続してまいります。そして、農業・水産業の新たな担い手を育成するとともに、妊娠から育児まで切れ目のない子育て支援を展開すること、定住人口の維持・増加につなげ、新たな魅力と活力ある石巻市の実現に全力で取り組んでまいりますので、皆さまのご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆さまにとって幸多き年になりますことを心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたしまして。



やまべ かずお
山部 和男さん
河北地区
昭和21年生まれ

季節に合うメニュー提供

二つの料理店を経営していますが、一つは長男に任せ、本店を次男と共に守っています。料理人の修行をしている孫が戻って一緒に仕事ができるよう、本店を一層盛り上げていきたいと思っています。

店は信用が大事です。料理は手を抜かず、季節に合ったメニューを出すといった努力を惜しまずに頑張ります。そのためには健康が大切です。3代一緒に仕事を夢の実現のためにも気をつけます。



ふじい みつき
藤井 光枝さん
雄勝地区
昭和33年生まれ

教室で「三つの魅力」学ぶ

3年ほど前から、日々の生活に追われながらも習い事を始めました。教室では、容姿の魅力、力量の魅力、人間的な魅力の「三つの魅力」を身につけることを学んでいます。完全に身につけることは容易ではなく、不可能なことかもしれませんが、この三つの魅力を目標に一歩でも近づけるよう、日々精進を重ねています。

今年も新しい自分と出会える喜び、新しい自分を発見する楽しさを思っています。

今年 戌



年男・年女の皆さんに、今年の抱負や将来の夢を伺いました。

千支の特徴

誠実で真面目な性格。恩や義理を重んじる律義な部分がある方が多いです。また、勤勉かつ努力家で、回りからの信頼が厚く集団では率先してみんなを引っ張って行きます。

イヌに関することわざ

「犬は三日の恩を三年忘れず」
犬はわずかな期間(3日)でも、良くしてもらった恩は長い期間(3年)忘れない。人であれば、なおさら恩義を忘れてはならないという意味です。



ちば ゆきや
千葉 幸也さん
石巻地区
昭和9年生まれ

健康第一で頑張ります

生まれて7回目の戌年を迎えられたことは、家族をはじめ多くの方々の支えがあったからこそと感謝の一言に尽きます。

少年時の第2次大戦、終戦後の混乱期をくぐり抜け、八十余年の現在まで生かされたことに改めて感謝する次第です。

去年は2人目のひ孫が生まれ、成長を見守る楽しみも増えました。寄る年波には勝てませんが、できるだけ周りに迷惑をかけずに健康第一で過ごしていきたいよう頑張ります。



あべ しずか
阿部 静さん
河南地区
大正11年生まれ

ひ孫の成長 日常支える

普段はテレビで料理番組や歌番組を見るのが楽しみです。時々、料理を作りますが、ひ孫たちに「びいちゃんの料理は昭和の料理だね」と言われ、みんなで大笑いします。それも元気の秘訣ですね。季節の花を生けることも趣味なので、続けていきます。

今年も健康に気をつけ、身の回りのことは、なるべく自分でやるようにします。ひ孫の成長を見守り、家族と一緒に楽しい生活を送りたいと思います。



えんどう くるみ
遠藤 来美さん
北上地区
平成18年生まれ

妹たちの世話続けます

中学生になるので忙しくなりますが、部活も習い事の習字もピアノも一生懸命頑張ります。部活は卓球部に入ろうと思っています。周りから動体視力がいいと言われるので、卓球が合っているかなと考えました。

勉強も難しくなりそうなので、頑張ります。算数(数学)は好きですが、社会が少し苦手なので頑張ります。妹が2人いるので、中学生になっても一緒に遊んであげたりして仲良くしたいです。



さいとう だいち
佐藤 大智さん
桃生地区
平成6年生まれ

安全に努め長距離運転

水産加工品の運送会社に勤めています。石巻も女川も新しい魚市場が完成し、水揚げも増えているので、私たちも頑張らないといけないと思っています。東京や北海道など長距離運転になることが多いので、絶対に事故を起こさないよう気をつけます。

プライベートではサンデー野球チームに所属しています。県大会で上位にいくと、コボスタ宮城で試合ができるので、実現するよう全力を尽くします。



あべ えみこ
阿部 江美子さん
石巻地区
昭和45年生まれ

育児中食の安全を実践

美と健康のお手伝いをする店を経営しています。この仕事に携わって28年、美しさの根本は健康でいることだと考えていますので、健康のためのアドバイスにしっかり取り組んでいきます。

東日本大震災の時に命について考え、3人目の子を生む選択をしました。親孝行も大切ですが「子孝行、も大事です。子育ての中で食の安全を実践し、みんなが健康に過ごせるように努力していきたいです。



あつみ たかゆき
渥美 貴幸さん
牡鹿地区
昭和57年生まれ

漁業の魅力を生かす子供らへ

ホヤ中心の水産業です。体が資本なので、体調管理に気をつけます。2年前に禁煙に成功したので、このまま続けます。水産業の仲間やネット関係者をつくった一般社団法人や会社でも仕事をしています。これから正念場なので、おごらず、かつ楽しく仕事をしていきたいですね。

被災した自宅は、2年前に高台移転して再建し、家族一緒に暮らしています。古里の海のこと、漁業の魅力を子どもたちに伝えていきます。